

タイトル(書名)	<p style="text-align: right;">聖書Navi Active 393128091 (新共同訳) [検索語彙 : ヨシュア・カレブ]</p> 章:節 聖句 [検索対象総数 : 20 / 聖句等の総数 33250 <ヨシュア>8個 <カレブ>8個]
K 民数記	14:5 モーセとアロンは、イスラエルの人々の共同体の全会衆の前でひれ伏していた。
K 民数記	14:6 土地を偵察して来た者のうち、ヌンの子ヨシュアとエフネの子カレブは、衣を引き裂き、
K 民数記	14:7 イスラエルの人々の共同体全体に訴えた。「我々が偵察して来た土地は、とてもすばらしい土地だった。
K 民数記	14:26 主はモーセとアロンに仰せになった。
K 民数記	14:27 「この悪い共同体は、いつまで、わたしに対して不平を言うのか。わたしは、イスラエルの人々がわたしに対して言う不平を十分聞いた。
K 民数記	14:28 彼らに言うがよい。『主は言われる。わたしは生きている。わたしは、お前たちが言っていることを耳にした が、そのとおり、お前たちに対して必ず行う。
K 民数記	14:29 お前たちは死体となってこの荒れ野に倒れるであろう。わたしに対して不平を言った者、つまり戸籍に登録 をされた二十歳以上の者はだれ一人、
K 民数記	14:30 わたしが手を上げて誓い、あなたたちを住まわせると言った土地に入ることはない。ただし、エフネの子カレ ブとヌンの子ヨシュアは別だ。
K 民数記	14:31 お前たちは、子供たちが奪われると言ったが、わたしは彼らを導き入れ、彼らは、お前たちの拒んだ土地を知 るようになる。
K 民数記	14:32 しかし、お前たちは死体となってこの荒れ野で倒れる。
K 民数記	14:33 お前たちの子供は、荒れ野で四十年の間羊飼いとなり、お前たちの最後の一人が荒れ野で死体となるまで、 お前たちの背信の罪を負う。
K 民数記	14:38 しかし、土地を偵察に行った者のうち、ヌンの子ヨシュアとエフネの子カレブだけは生き残った。
K 民数記	26:65 主が、彼らは必ず荒れ野で死ぬと言われたからである。彼らのうち、ただエフネの子カレブとヌンの子ヨシュ アを除いて、だれも生き残った者はなかった。
K 民数記	32:10 その日、主は激しく憤り、誓って言われた。
K 民数記	32:11 『エジプトから出て来た者のうち二十歳以上の者は、一人として、わたしがアブラハム、イサク、ヤコブに誓っ た土地に入らせない。わたしに従いとおさなかったからである。
K 民数記	32:12 ただし、ケナズ人エフネの子カレブとヌンの子ヨシュアは別だ。彼らは主に従いとおしたからである。』
K 民数記	32:13 主はイスラエルに対して激しく怒り、四十年にわたり、彼らを荒れ野にさまよわせられ、主が悪と見なされる ことを行った世代の者はことごとく死に絶えた。
K ヨシュア記	14:6 そのころ、ギルガルのヨシュアのもとにユダの人々が来た。その一人ケナズ人エフネの子カレブがこう言った。 「主がカデシュ・バルネアでわたしとあなたのことについて神の人モーセに告げられた言葉を、あなたはご存じのほ ずです。
K ヨシュア記	14:13 ヨシュアはエフネの子カレブを祝福し、ヘブロンを嗣業の土地として彼に与えた。
K ヨシュア記	15:13 主の命令に従い、ヨシュアはエフネの子カレブに、ユダの人々の領内のキルヤト・アルバすなわちヘブロンを 割り当て地として与えた。アルバはアナク人の先祖である。